

今のうちに備えよう！！災害時に必要なものとは！！

9月1日は防災の日です。約100年前に関東大震災が起きた日であり、この震災を教訓に防災対策の重要性の理解を深める日となりました。今年の元日には能登半島地震が起き、それ以降も各地で地震が起きました。地震や津波などの自然災害はいつ起こるか分かりません。しかし、事前に備えることで、心にゆとりを持つことができます。そこで今回は、避難時に持っていくのに準備するものについて一部ご紹介します！また、準備品の1つとして、緊急医療情報キットなどの緊急連絡先が分かるものもぜひ加えてください。いつ起こるか分からない災害に少しでも備えていきましょう！！



1人当たり避難時に持っていくもの(一部抜粋)

○水(3日～1週間分)
/1日3L想定

○貴重品(通帳、印鑑、
現金、保険証等)

○食料(アルファ米、
缶詰、ビスケット等)

○着用品(ヘルメット、下着、衣類等)

○衛生、日用品(毛布、タオル、トイレトペーパー、懐中電灯、マスク、ウェットティッシュ、洗面用具、ラジオ、生理用品等)

○救急用品(絆創膏、消毒液、常備薬※等)

※服用中のものについては主治医にご相談をおすすめします

参照:政府広報オンライン「災害時に命を守る一人ひとりの防災対策」
(<https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201108/6.html>)

取り組み紹介！！

【民生委員に向けた薬剤師連携(講座)】

多度町内でご活躍されている民生委員さんに向けて、多度にあるあおぞら薬局の増田先生さんによる、薬剤師に関するお話をしていただきました。主に、薬剤師とはどんなお仕事なのか、薬局以外ではどんな場所で働いているのか、また、かかりつけ医ならぬ、かかりつけ薬剤師とは何かをお話しいただきました。

これからも薬剤師さんと協力しながら、地域の皆様のお力になりたいと思っております。



【認知症サポーター養成講座 in 津田学園】

6/11に津田学園にて、認知症サポーター養成講座を実施いたしました。今回は中1～中3の生徒さん(63名)に向けて、認知症についてのお話を行いました。今回、私立の中学校に向けて初めて実施しましたが、受講いただいた皆様に、認知症が身近なものであると知って頂くことができました。

皆様の今後のご活躍を楽しみにしております。



このまちの「薬剤師さん」!



こんにちは、スギ薬局大山田店です。当店は調剤併設型ドラッグストアとして調剤室は2009年6月開局し、月に100以上の医療機関の処方箋を応需し、医療だけでなく生活支援も含め、地域の皆様に貢献できるよう日々心掛けています。

さて、2024年度は2年に1度の診療報酬改定の年となりました。薬局においては4月に薬価(薬の公定価格)、6月に調剤基本料や加算算定等の改定が行われました。そして10月から「長期収載品の選定療養」が実施予定となっております。患者様の自己負担額に新たにかかわる部分なので少しお話しさせていただきます。

- ・選定療養:特別な療養環境など患者様が自ら希望して選ぶ療養(病院だと個室病室などの差額ベッド代等の保険外診療のこと)
- ・長期収載品:既に特許が切れているなどで同じ効能・効果を持つ後発医薬品が発売されている(先発)医薬品。 ※対象品目:1095品目(2024年4月現在)

患者様が自らの意思で長期収載品を選択した場合は、健康保険の自己負担割合分以外に、長期収載品の薬代の一部を追加でお支払いいただく仕組みです。追加でお支払いいただく料金として(長期収載品の薬価-最も高い後発医薬品の薬価)×4分の1×消費税 ※追加分は保険給付ではないため課税されます。

この制度は、医療上必要と医師が判断した場合やメーカー供給都合、薬局に後発医薬品がない場合などは対象外となります。制度の詳しい仕組みについては、さらに国から解釈の通知が行われると思いますが、各薬局に遠慮なく聞いていただきたいと思います。

○スギ薬局調剤 (スギ薬局大山田店)

住所:桑名市新西方2丁目14番地

電話:0594-27-1561



(スギ薬局大山田店 様)

編集者コソコソ話

8月中旬にお盆があります。お盆とは、故人やご先祖様が、あの世と呼ばれる世界から、この世に戻ってくる期間を指します。またご家庭によっては、なすやきゅうりの飾り物を作られるかと思えます。今回はその飾り物についてのお話をします。

お盆に置かれる、なすやきゅうりの飾り物は、ご先祖様の乗り物にしていただくためとされています。きゅうりの飾り物は、ご先祖様を迎える「精霊馬(しょうりょうま/しょうりょううま)」、なすの飾り物は、ご先祖様をお送りする「精霊牛(しょうりょううし)」と呼ばれています。お送りする方が牛であるのは、荷物をいっぱい持って、ゆっくり帰っていただくという意味があるそうです。今は見かけることも減ってきましたが、一度作ってみるのもいいかもしれませんね。

By なすよりきゅうり派な編集者

北部西地域包括支援センター 福祉なんでも相談センター

福祉に関することをまとめて相談できる窓口です。お気軽にご連絡ください。

○北部西地域包括支援センター

多度福祉なんでも相談センター

受付場所:多度すこやかセンター

開所日時:月~金曜日 8:30~17:15

(祝日除く)

電話:0594-49-2031

○北部西地域包括支援センター

福祉なんでも相談センター

受付場所:光精工コミュニティプラザ

開所日時:火~日曜日 9:00~17:00

(月曜日が祝日の場合は開所)

電話:0594-41-2114